

意見=これまで、釧路川では古くから河川の改修が行われ、水害がほとんど無くなり感謝しております。この度の要望は、河川の蛇行がある程度直線化されたことにより、河川の川底の低下が進み特に、当別川と交わる箇所では非常に低下が激しく進んでおります。更に、下流部の南弟子屈地区においても河川の保護施設も脱落し、河中に滑り落ちるようになっている箇所が数多く見られるようになっております。

新聞等によれば、釧路湿原に流入する小河川では洪水の毎に土砂が湿原内に流入するための防止策を講ずることが報じられております。釧路川の本川上流に於いても洪水の度毎に川底の土砂がえぐり取られ、濁流により土砂が釧路湿原に沈殿することも考えられると思います。釧路湿原の保全保護のためにも、何らかの河底の低下を防止する方策を考えて貰いたいと思います。

なお、釧路川は古くから数多くの魚類が生息する河川であります。特に、「イトウ」の生息は最近の新聞では、非常に激減しているとのことです。特にお願いしたいことは、魚類が下流から上流まで常に遡上可能な施設を施していただきたい。